

名古屋女子大高・新体操部



「イチ、ニ、サン」。部員十八人の軽やかな掛け声とともに、直径八十センチほどのフープと先にゴムが付いた長さ五十センチ弱のクラブが、屋内練習場を飛び交う。

四時間半の練習のうち、二時間半はストレッチや筋力トレーニング、バレエ練習などの基礎練習に充てる。体が柔らかくなった後の演技練習では、音楽に合わせてフープやクラブを手で投げたり、足で蹴ったりして相手に渡す練習を繰り返す。今年で創部四十年。昨年まで

県大会、38年連続優勝を目指す



フープとクラブを手に練習に励む選手たち＝名古屋市瑞穂区の名古屋女子大高で

を語る。

部のテーマは「思いやりのある女性になること」。部のOGで監督の横山玲奈さん(三)は「技術面だけではなく、気遣いや感謝できる女性になってもらうように、礼儀や普段からの振る舞いも指導している」と話す。

五月下旬の県大会では、三十七年連続で県大会を制覇してきた。全国大会でも六回の優勝を誇る。昨年のインターハイに出場した織田笑歌さん(二)は「相手と直接対決するスポーツではなく、自分の表現次第で点数を上げられる」と魅力

八回連続優勝が懸かっている。稲垣新菜主将(三年)は「全員で助け合いながらレベルを上げて、大会では自信を持って演技をやり切る。必ず優勝して連続優勝を続けたい」と意気込んで

(福本英司)